令和７年度長久手市行政評価票（Ａ票：事業評価票）

対象年度	令和６年度				
事業番号	67	事業名	接道緑化設置補助事業	担当課	みどりの推進課
				予算区分（款-項-目-中事業）	7-4-5-2　接道緑化設置補助事業
			（中事業名）　接道緑化設置補助事業	決算書ページ	184 ～ 185　一般

Ⅰ 基本情報

総合計画	基本目標	3	みんなで未来へつなぐ　緑はまちの宝物
	政策	3	地球にやさしい持続可能な社会の構築
	施策	(1)	くらしの低炭素化の推進
その他	開始年度	令和６年度	
	終了予定年度	年度　☑未定	市民・民間事業者との連携協働の可能性：市民とのみ協働可
	根拠法令等	無し	
	関連計画	長久手市みどりの推進計画、長久手市緑の基本計画	

事業の概要・目的

①事業概要（どんな取組を行うのか）	アウトプット（詳細はⅡへ）②活動指標（取組の進捗をはかるもの。また、それがどうなるのか）	アウトカム（詳細はⅢへ）③中間成果（①【対象】がどのような状態に変わるのか）	④最終成果（大事業の将来像）
【対象】 ☑ 市民　☐ 事業者 ☐ 職員　☐ その他 対象の数：60,000人 【事業内容】 接道部の緑化を奨励することで、みどりの育成を推進し、潤いのある市街地を形成します。	【アクションプラン指標】 接道緑化設置件数 【その他の指標】	件数が増えることで、まちの緑が増加する （成果指標名） 接道緑化のみなし延長	大事業共通 接道部の緑化が増加することにより、市街地において、緑あふれる潤いのあるまちとなる。

Ⅱ　活動状況（アウトプットの詳細）

活動指標

	活動指標名	単位	基準値（2023年） 目標値（2028年） ※AP指標のみ		区分	R6(2024) 年度	R7(2025) 年度	R8(2026) 年度	R9(2027) 年度	R10(2028) 年度
1	【アクションプラン指標】 接道緑化設置件数（累計）	件	基準値	-	目標値	5	10	15	20	25
			目標値	25	実績	2				
2			基準値		目標値					
			目標値		実績					
3			基準値		目標値					
			目標値		実績					
4			基準値		目標値					
			目標値		実績					

エピソード

事業開始の背景	従前の「①長久手市生垣設置補助金」及び「②長久手市屋上・壁面緑化助成金」について、申請件数が低迷していた。②については廃止を決断し、①についてはより柔軟に利用できるよう要綱を改正し、接道部分の緑化を推進することとした。

各年度の取組、改善したこと。目標が達成できなかった場合はその理由

R6	・補助金交付件数　2件 令和６年度からの新規事業の為、広報、ホームページ、案内チラシの設置（各共生ステーション、あぐりん村、ハウジングセンター及びみどりの推進課窓口）やデジタルサイネージを活用したＰＲを行った。結果としては目標件数を下回ったため、令和７年度については更なるＰＲを進める必要がある。	R7	
R8		R9	

Ⅲ 事業の成果・課題分析（アウトカムの詳細）

成果指標（CHECK）

成果指標名（中間成果をはかるもの）	単位	－ 年度	－ 年度	【現状】 R6 年度	R8 年度	R10 年度
接道緑化のみなし延長	m	－	－	44	45	75

成果達成状況：A

A.想定より良い　B.想定どおり　C.どちらともいえない　D.想定を下回っている

評価の理由、分析

令和６年度の目標が１５mに対し、４４．２４mの実績であった。
アクションプラン指標の件数としては少なかったが、実際に現場に植えられた緑化としては、目標を上回った。

指標目標値の根拠

接道緑化補助金の補助対象要件として、接道緑化のみなし延長※1が３m以上必要である。毎年5件の受付をアクションプランの活動指標として掲げているため、毎年15m分のみなし延長の増加を目標として設定する。

※1
補助要綱で植える樹木の区分毎にみなし延長が規定されています（高木:4.2m、中高木:3.2m、中木:2.2m等）。

加える変化（ACTION）

今後の方向性：B

A.拡充　B.現状維持　C.縮小　D.廃止

今後の方向性の理由

より市民に利用してもらうため、ＰＲ活動を積極的に行う。

改善ポイント

（成果指標を踏まえ、総合計画基本目標達成のため、必要性、有効性、効率性、公平性、歳入確保の観点等から見直しの余地のある取組を記入）

	見直しの余地のある取組名	見直しの方向性	理由及び具体的な見直しの内容	見直し可能年度
1	開発協議案件へのＰＲ（店舗、アパート等への周知）	☐拡充 ☑改善 ☐縮小 ☐廃止	開発協議の案件に係る店舗やアパート等については、都市計画課と連携し、事前相談の段階でＰＲをしていく。	Ｒ７
2	ハウジングセンターへの戸別訪問（専用住宅への周知）	☐拡充 ☑改善 ☐縮小 ☐廃止	市民が専用住宅の相談をする場所としてハウジングセンターが多い。よって、ハウジングセンターの各事業所にチラシの配布及び説明を行い、ＰＲを行う。	Ｒ７
3		☐拡充 ☐改善 ☐縮小 ☐廃止		

Ⅳ 費用

令和８年度予算の方向性（ＰＬＡＮ）

R8年度の費用（R7年度比）	
B	A.拡充　B.現状維持 C.縮小　D.廃止

理由

継続して事業を推進する

積算額

３年間の推移

（単位：千円）		R5(2023)年度		R6(2024)年度		R7(2025)年度
		予算	決算	予算	決算	予算
事業費		246	92	359	74	359
特定財源	合計額	0	0	0	0	0
	（内　国費）	0	0	0	0	0
	（内　県費）	0	0	0	0	0
	（内　諸収入）	0	0	0	0	0
	（内　その他）	0	0	0	0	0
一般財源		246	92	359	74	359

R7年度予算の内訳　＜細々節名、　予算額、（R6年度予算額）＞

接道緑化設置補助金 359千円（359千円）